

諸福幼稚園及び南郷保育所の今後のあり方について

1. 本市における就学前幼児教育・保育の状況

(1) 「少子高齢化」と「共働き世帯増加」の影響

- ① 3歳児～5歳児全体に占める1号認定こどもの人数、割合の低下
 - ・ 1号認定こどもの割合は、H27の48%から、R6には33%に低下
 - ・ 2号認定子どもは割合、人数とも増加

【表1】 3～5歳児の人口及び1号・2号認定子どもの人数の推移（単位：人）

年度	H27	R1	R6
3～5歳	3,043	2,659	2,366
1号認定	<u>1,474</u>	1,084	<u>771</u>
2号認定	1,357	1,429	1,502

※1号認定子ども…3～5歳の保育を必要としない子ども
 ※2号認定子ども…3～5歳の保育を必要とする子ども

②民間幼稚園の認定こども園化

- ・ 全6施設中5施設が認定こども園へ移行済

(2) 公立幼稚園の状況

- ・ 利用の減少に歯止めがかからず、利用減少率は民間園を上回る
- 「北条幼稚園」：R3年度末に「北条保育所」と施設統合
- 「諸福幼稚園」：R7年度当初の在園児数は14人となる見込み

【表2】 公立2施設の利用状況

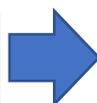
(単位：人)

施設名	年齢	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込
諸福幼稚園	4歳	21	25	13	16	5	<u>7</u>
	5歳	31	25	27	16	17	<u>7</u>
	合計	52	50	40	32	22	<u>14</u>
北条こども園	3歳	-	-	7(18)	10(16)	9(20)	10
	4歳	20	15	9(14)	11(19)	9(17)	9
	5歳	26	22	19(22)	9(17)	12(21)	10
	合計	46	37	35(54)	30(52)	30(58)	29

※北条こども園 R4～R6 のカッコ内は、2号認定こどもの人数

2. 検討の方向性

幼稚園としての運営継続の困難さ
公立幼児教育の必要性



南郷保育所との施設統合

3. 施設統合に向けた検討

(1) 統合先

①両施設の比較

- ・土地面積、施設面積、調理施設の有無については南郷保育所側が優位
- ・園舎は南郷保育所の方が老朽化しており、対策が必要

【表3】諸福幼稚園と南郷保育との比較

	定員	在園児数	土地面積	施設面積	建築年	調理設備
諸福幼稚園	150人	22人	2,459 m ²	817 m ²	S47.4	無し
南郷保育所	180人	181人	3,395 m²	1,498 m²	S42.12	有り

②就学前教育・保育施設の適正配置

- ・諸福幼稚園側に統合した場合、周辺の民間保育施設の多さから、供給過剰の可能性
- ・逆に、南郷保育所以北の地域は保育施設が無く、供給不足が生じる恐れ

【図1】市西部地域における就学前教育・保育施設の設置状況



(2) 統合の時期

- ・令和7年度入園児が卒園を迎える令和8年度末を統合のタイミングとする

今後のあり方

- ・令和8年度末をもって諸福幼稚園と南郷保育所を統合する
- ・統合にあたり、現、南郷保育所を幼保連携型認定こども園へ移行する

4. 方針決定に向けた検討

R7.1.14	総合教育会議で方針を協議
R7.2.4	教育委員会定例会において方針を決定
R7.2.17	経営会議において方針を決定